

(一部)設備を屋外に設置している事例

①東京臨海エコクリーン

■施設概要

【産業廃棄物処理】

処理能力:550 t/日 (275 t/日×2)

対象物:産業廃棄物

炉形式:流動床ガス化溶融炉

発電機出力:23 MW

運営事業者:J&T 環境株式会社

【感染性医療廃棄物処理】

処理能力:100 t/日 (50 t/日×2)

対象物:感染性医療廃棄物、機密媒体

炉形式:パーティカル炉

運営事業者:J&T 環境株式会社



■建屋内に納められた設備:

プラットフォーム、ごみピット、送風機室、タービン発電機室、電気室、給水・排水処理設備、空気圧縮機、スラグピット、灰ピット、中央制御室、事務室など

■屋外設置の設備:上記以外のもの(主な設備:焼却設備、ガス冷却設備、排ガス処理設備等)

②マヨルカ島ごみ焼却施設

■TIRME S.A 社が運営(コンセッション方式)している「マヨルカ廃棄物処理総合施設」

■廃棄物発電施設(施設概要)

1・2系(写真奥側)・・・1997年に稼働(処理量約300,000 t/年)

Steinmüller Babcock Environment社製

3・4系(写真手前)・・・2010年1月に稼働(処理量約430,000 t/年)

ごみ投入ホッパから煙突までをHitachi Zosen Inova社製

3・4系焼却炉は一部の設備を除いて、殆どどの設備が屋外設置(フェンス囲い)

※中央制御室は横河電機株式会社が設計・施工(4つの系列は中央制御室で一括管理)



焼却施設(手前:3・4系焼却炉、奥側:1・2系焼却炉)



焼却施設(3・4系焼却炉)



3・4系 排ガス処理設備(シート囲い)

【参考】

3・4系焼却炉の主要な仕様

処理能力	600t/日 × 2炉
処理物	都市ごみ、商業ごみ、 一部次も含む：医療廃棄物(<10%)、 下水汚泥(<10%)、 シュレッダータイヤ(<2.5%)
発熱量	7.5MJ/kg～16 MJ/kg
炉形式	全連燃焼式ストーカ炉 Hitachi Zosen INOVA社
ボイラ	テールエンド型ボイラ、 蒸気条件5.2MPa × 400℃、 発生蒸気量84.5t/h、 ボイラ出口排ガス温度180℃
発電機出力	38MW
主灰処理	施設内選別：鉄分、非鉄金属、 その他不燃物（隣接の主灰処理施設で処理）
主要設備	ごみクレーン、焼却炉、ボイラ、半乾式反応、 バグフィルタ、触媒反応塔